

週刊 ▶ 毎週木曜日発行 Weekly publication "SUMIKA CLUB" September 22

Vol. 1241

4~7面 モデルハウス特集
8~10面 特集「ぐんまの空き家」

すみかくらぶ

住宅・不動産速報
バックナンバーは
Webで



編集・発行 上毛新聞社営業局
〒371-8666 前橋市古市町1-50-21
TEL.027-254-9951 FAX.027-253-9999
✉ sumika@raijin.com
https://www.sumikaclub.com

自然豊かな環境で子育てを楽しむ家 人とお財布にやさしい「エコ住宅」



House data

【家族構成】夫・妻・長男
【施工・設計】(有)大竹住建

ユーザー紹介：2面へ

モデルハウス公開中!!

秋の見学・内覧会開催!!

10:00~16:00



11月5日⑤・6日⑥
話題のミラブル製品を体感しよう!
モデルハウス内覧会



12月3日⑤・4日⑥
参考にしたい子育て世代の家
完成見学会

F.P.による資金計画
相談会も行います!!

※新型コロナ対策※ 完全予約制で1組様ずつのご案内とさせていただきます。
※完成前見学や構造現場見学は随時受け付けております。

見学は予約制

無理のない予算で「笑顔が広がる住まい」を提供します

人とお財布にやさしい「エコ住宅」

oij 有限会社 大竹住建

沼田市横塚町1391-1 TEL.0278-25-9192
【営業時間】8:00~18:00 【定休日】不定休

家づくりのはじめの一步は資料請求から
大竹住建 検索 無料
https://www.ohtakejuken.jp/

バーチャルビューが
ご覧になれます。
スマートフォンやタブレットからの
閲覧は、パケット通信料(データ
通送料)がかかります。





壁を立ち上げキッチンをほどよくゾーニングしたリビング空間。天井の化粧梁や造作キッチンカウンターが、日々の暮らしに無垢のぬくもりを伝える

リビングの続き間の和室が空間の広がりをもたらすL字に配置した居住空間



地域に愛される工務店

目の前に田畑が広がり、並走する道路と河川のその先には小高い山が連なる自然が豊かなエリアに建つI邸。結婚を機にマイホーム計画を立てたご夫妻は、互いの実家で暮らしながら家づくりを進めていき、「いずれは両親と同居するつもりで建てました」とご主人が語るように、母屋

の庭だった土地に新居を構えた。

バルコニーの一部を濃色に、建物の側面にはモスグリーンでアクセントを付け、オフホワイトの外壁に躍動感を持たせた2階建て。母屋とスムーズな行き来ができるよう、北側に玄関を設けた。I邸を建築したのは利根沼田エリアを中心に、地域に根差した家づくりで地元で愛される大竹住建。ご主人のお姉さまの紹介がきっかけとなり、同社の事務所を訪れた。

具体的な家づくりの相談は同社の大竹博之社長と行った。ご夫妻が特にこだわったのは、要

参考になったモデルハウスの魅力

具体的家づくりの相談は同社の大竹博之社長と行った。ご夫妻が特にこだわったのは、要

所に日々の暮らしの中で無垢のぬくもりが感じられる空間。リビングの天井には化粧梁を希望し、ご主人はリビングの続き間に畳のある部屋をリクエストした。「間取りはモデルハウスがとても参考になった」と話すご夫妻。事務所に隣接するモデルハウスは、大竹社長の自宅を兼ねているため、暮らしのさまざまなシーンを想像しやすかった。「丁寧に暮らし方の提案をしてくれて、何でも話せて要望を伝えやすかった」と振り返る。内装のコーディネートや各所に希望したアクセントクロスも「たくさんカタログ見本の中から悩みながらも楽しんで選びました」とにっこり。

家族の将来を見据えた間取り

こうして完成したI邸は、リビングを中心にキッチンと和室がL字に連続する快適な居住空間。



後に壁で仕切るなど、フレキシブルに活用できる2階の子どもの部屋

家事効率を考えて水まわりは1カ所に集約されている。ご主人のこだわった和室は、現段階ではお子さまのプレイルームとして活用し、この空間にぴったりの木製の神棚も造作してもらった。また、いずれ両親と同居することを前提に、1階には個室も用意してある。2階もモデルハウスを参考にセパレートが可能な子ども部屋と収納力のあるウォークインクローゼットが備わる寝室で構成されている。

暮らし始めて5カ月が経過し、春と夏を体感したご夫妻に住み心地を尋ねると、すぐさま「快適なもの」と答えてくれた。秋になれば周辺の山々が色づく様子をパノラマで楽しめる。ご夫妻はこれから迎える季節の変化を今から心待ちにしている。



家が完成し家族3人で新生活をスタートさせたIさん。左は大竹社長



母屋との行き来を考慮して北側に配置した玄関ポーチ



担当者からひとこと (代表取締役・大竹 博之)

当社の家づくりは「人とお財布にやさしいエコ住宅」がコンセプト。本当に幸せな生活とは、その家族に合った暮らしをすることです。家を建てた後も、ゆとりをもって楽しく暮らせるようにお客さま

の幸せを第一に考えたいので、経済的な負担が少なく、それでいて性能は妥協せずに健康で快適に暮らせる家づくりを提案しています。ぜひ、当社のモデルハウスを体感してください。